



クラウドファンディング
「SON青森が知的障がいのある人に無料でスポーツできる場を提供！」

SON青森が知的障がいのある人に無料でスポーツできる場を提供！

青森県 | チャレンジ | スポーツ

成立!!

Kenji Takehora (SON青森)

支援総額	741,000円
目標金額	460,000円
支援者数	28人
残り日数	終了しました

購入型 All or Nothing

プロジェクトが成立しました！
このプロジェクトは
2016年10月17日(月)23:00 に成立しました。

いいね! 597 | シェア | ツイート | ブックマーク 0

プロジェクト概要 | 新着情報 13 New | 応援コメント 28

プロジェクト終了報告

平成29年5月1日
スペシャルオリンピックス日本・青森
クラウドファンディング担当 竹洞
nekohat@gmail.com
SON-AOMORI.ORG

◎お礼

このクラウドファンディングへご協力・ご支援をして下さった皆さまへ、あらためて心からお礼申し上げます。

皆さまのご協力で、この活動は少なくとも全国の1万人の方に知ってもらうことができました。

皆さまのご支援がなければ、スポーツに取り組む知的障がいのある人の喜んだ笑顔を、地域社会でこれほど多く咲かせることはできませんでした。

今、地域社会では、当初想像すらしていなかった取り組みが、様々な方々のご協力で一つずつ実現しています。そして、地域社会は知的障がいのある人にとって生きやすい場所に少しずつ変わろうとしています。

この活動へご支援をして下さった皆さまはもちろん、FacebookやTwitterでこの活動に対して「シェア」や「いいね」などの協力をして下さった方々も私たちの大切な「仲間」です。

住んでいるところや職業、年齢が違っていても、皆さまと一緒に少しずつ、進めていけることに感激してします。

まだまだ、この活動は始まったばかりです。この活動を必要としている全国の人に、この取り組みを知ってもらうため、さらに進めていきましょう。

◎この終了報告について

2016年秋、私たちは、知的障がいのある人へ、スポーツを通じた途切れない自立と社会参加の機会を提供するため、無料でスポーツできるようにクラウドファンディングで資金を募集しました。

青森県は短命県と呼ばれており、ガンで亡くなる40～50代の人が多いのが特徴です。2016年までの数年間に、知的障がいのある人の親が亡くなることで、スポーツの場に参加できなくなる知的障のある人が発生していました。

スポーツへの参加費用を無料化することで、「親を亡くした結果、経済的な理由で参加できなくなる人を少しでも減らそうとする」この取り組みは、スポーツに取り組む全国の知的障がいのある人とその家族の方々の「希望」となりました。

この終了報告では、第1回目のクラウドファンディングにて調達した資金の使途報告だけでなく、クラウドファンディングに挑戦しなければ実現することがなかった活動の広がりについても紹介します。

◎クラウドファンディングの概要

2016年 9月19日 公開
2016年10月12日 目標到達（460,000円）
2016年10月17日 資金調達（741,000円）

プラットフォーム：株式会社READYFOR?

実行者：スペシャルオリンピックス日本・青森 竹洞兼視、ほか10名

◎支援者

29日間で全国の25%にあたる、12の都県（熊本・兵庫・滋賀・神奈川・東京・埼玉・栃木・千葉・新潟・宮城・岩手・青森）の117名。

◎資金の使途

青森県の6歳から41歳の知的障がいのある人32名に6ヶ月間、「無料」で水泳・スケート・スキーなどのスポーツ・トレーニングと競技の機会を毎週、自宅近くのスポーツ施設で提供しました。

◎余剰金

バスケットボール・アルペンスキー・スケートのプログラムはほぼ予定通り行われましたが、水泳プログラムは、クラウドファンディングが地元の新聞に取り上げられたことがきっかけで、最終的に一ヶ月あたり10回ほど実施できるようになり、そのうち8回について無料で実施できることになりました。そのため、余剰金が発生しました。

この余剰金については、今後において「知的障がいのある人が無料でスポーツできる場」を提供するために繰り越して使用させていただきます。

◎主な使途

136,000円	READYFORシステム利用料
96,000円	競技会（記録会）エントリー費・傷害保険加入等
9,000円	アルペンスキープログラム
55,000円	水泳プログラム
64,000円	スケートプログラム
240,000円	リターン準備費用
141,000円	余剰金

◎活動の広がり

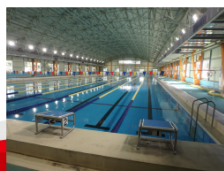
2016年11月

- 地元企業が主催したイベントに招待され募金を呼びかけ、約2万円の資金調達
- 水泳競技会へ地元ボランティア数が去年の3割増
- ミスユニバース青森大会ファイナリストらが街頭募金に協力、約3万円の資金調達
- 地元のリレーマラソンイベントに地元ボランティアと初参加、知名度に貢献



2016年12月

- 水泳のコーチが見つかり、無期限中止だった水泳プログラムが再開へ
- 協力店が見つかり、店頭募金箱を増設へ
- オリジナルTシャツの購入希望者が見つかり、約1万円の資金調達
- 自衛隊が訓練プールをプログラム用に無償提供して、飛び込みの練習が可能に



2017年1月

- 街頭募金が地元テレビで報道される、知名度に貢献
- ミスユニバース青森大会で募金を呼びかけ、約5万円の資金調達
- 地元の大型ショッピングセンターで募金を呼びかけ、約3万円の資金調達
- 地元大学サッカー部の協力で、無料サッカー教室が実現



2017年2月

- 全国のプレスリリースサイトで1位に、知名度に貢献
- 地元農家の協力で、第2弾クラウドファンディングの公開
- 新聞記事等を見た親子が入会、毎月4～7%で会員増
- ライオンズクラブから寄付、約5万円



2017年3月

- 地元大学と連携協定、学生教育を通して共生社会へ前進
- 市長へ公共スポーツ施設の利用料減免を要望、スポーツ環境の改善
- 地元フィットネスクラブがプールの一部を無償提供、自立と社会参加の機会



以上